



船場区 自治会役員の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

2月24日 住民原子力懇談会を実施しました。
船場区の皆さん13名の方と、高レベル放射性廃棄物の処分研究施設を見学し、村の防災体制や今後の原子力利用について意見交換を行いました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、原子力安全に関する村や事業所の取組をお伝えするとともに、「安全・安心なまちづくり」に反映するため、住民の皆さんのご意見やご要望を伺うことを目的に、平成20年度から実施しているものです。

日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所（サイクル研）の高レベル放射性廃棄物処分研究施設（エントリー）において、サイクル研の研究活動の紹介、昨年3月の地震・津波によるサイクル研の被災と復旧状況の説明を受けました。

高レベル放射性廃棄物処分の考え方やサイクル研の研究内容を見学した後、懇談会を行い、村の防災体制も含めて活発な議論が行われました。

なお、見学会、懇談会には、経済産業省原子力安全・保安院東海・大洗原子力保安検査官事務所の副所長、文部科学省茨城原子力安全管理事務所の所長、原子力保安検査官にも参加していただきました。



<船場区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成24年2月24日（金）13時～16時35分

見学会（参加者：13名）13時～15時20分

エントリー内で概要説明を受ける
高レベル放射性廃棄物処分研究施設見学
バス内より高台に移転した電源車、建物の被害状況を見る

懇談会（参加者13名）15時30分～16時35分
エントリー 会議室